

平成20年度第1回共同実験結果報告書(ふっ素)

事業所名			
分析担当者氏名		経験年数	
環境計量士氏名		連絡用TEL	
連絡用FAX		連絡用メールアドレス	
分析開始日		分析終了日	

※経験年数は今回使用した分析方法の今までの経験年数を記入してください

分析結果

試料名	1	2	3	4	5	報告値
試料 1						
試料 2						

※単位はmg/Lで記入し、有効数字3桁で記入してください

※複数回測定した場合は、平均濃度を記入してください

測定方法

ランタンアリザリンコンプレキソン 吸光度法	イオンクロマトグラフ法

※用いた測定方法の項目に○を記入してください

意見・感想

--

前処理の詳細

試料 1(低濃度)	配布試料からの分取量	ml
	希釈した試料の定容量	ml
	希釈試料からの分取量	ml
	蒸留に使用した酸の種類	
	蒸留に使用した酸の量	ml
	蒸留後の定容量	ml
試料 2(高濃度)	配布試料からの分取量	ml
	希釈した試料の定容量	ml
	希釈試料からの分取量	ml
	蒸留に使用した酸の種類	
	蒸留に使用した酸の量	ml
	蒸留後の定容量	ml

※吸光光度法で測定した場合のみ記入してください

前処理および測定法の詳細

定量法	1.絶対検量線法 2.その他		
	ふっ素の測定波長		nm
	ランタンアリザリコンプレキソン溶液	1. 自社調製 2. 市販品	
標準液	標準原液の調製法	1. 自己調製液 2. 市販標準原液 3. その他	
		標準原液の製造元	
	標準液の作成日		
使用機器	分光光度計	メーカー名	
		型式	
		購入年月日	

試料測定データ

分析項目 ふっ素

		1	2	3	4	5	平均値
試料 1(低濃度)	吸光度						
試料 2(高濃度)							

検量線データ

検量線	$y =$		$\times x +$		直線性	$r^2 =$	
-----	-------	--	--------------	--	-----	---------	--

	ブランク	標準液1	標準液2	標準液3	標準液4	標準液5
濃度						
吸光度						

※イオンクロマトグラフ法で測定した場合にのみ記入してください

前処理および測定法の詳細

定量法	1.絶対検量線法 2.その他					
	注入量		μL			
	試料導入方法		1. 自動 2. 手動			
	溶離液					
	分離カラム					
	サプレッサー		1. 有 2. 無			
	検出器		形式			
種類						
標準液	標準原液の調製法		1. 自己調製液 2. 市販標準原液 3. その他			
			標準原液の製造元			
	標準液の作成日					
使用機器	イオンクロマトグラフ計		メーカー名			
			型式			
			購入年月日			

試料測定データ

分析項目 ふっ素

		1	2	3	4	5	平均値
試料 1(低濃度)	ピーク強度						
試料 2(高濃度)							

検量線データ

試料 1(低濃度)

検量線	$y =$		$\times x +$		直線性	$r^2 =$	
-----	-------	--	--------------	--	-----	---------	--

	ブランク	標準液1	標準液2	標準液3	標準液4	標準液5
濃度						
ピーク強度						

試料 2(高濃度):低濃度と同じであれば記入不要です

検量線	$y =$		$\times x +$		直線性	$r^2 =$	
-----	-------	--	--------------	--	-----	---------	--

	ブランク	標準液1	標準液2	標準液3	標準液4	標準液5
濃度						
ピーク強度						